

## 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	生産流通課
職	課長
氏名	津川 久孝

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
消費者ニーズに沿った安全で良質な農畜産物の生産体制とブランド化の推進による販売力の強化	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>					
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>					
①特色ある県産農林水産物のブランド化を進め、販売の拡大を図る。 ②うまい・きれい石川米づくり運動を進め、県産米の品質向上を図る。 ③地域の条件に適した地域特産物づくりを推進するとともに、水田での転作作物の拡大を図る。 ④食品産業と連携した新商品開発等の6次産業化を推進する。 ⑤地産地消の推進 ⑥能登牛の生産拡大と品質向上により、他産地に負けない特色ある肉牛生産を推進する。						
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>					
	<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
①	ブランド品目数の販売額	9 億円	H27 年度	15 億円	H37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
②	1等米比率	88 %	H27 年度	90 %	H37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
③	園芸品目の共販金額	68 億円	H26 年度	87 億円	H37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
④	総合化事業計画の認定者数	2 件	H27 件(累計)	16 件(累計)	H37 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016
⑤	地産地消推進協力店数	929 店	H27 年度	1,000 店	H28 年度	
⑥	能登牛の認定頭数	672 頭	H27 年度	1,000 頭	H31 年度	いしかわの食と農業・農村ビジョン2016



<b>28年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①県産農林水産物のブランド化、販路拡大	ブランド食材プロデューサーの設置や県産食材求評懇談会等の開催を通して、県産食材の新たな販路開拓・拡大を図る。
②良品質で売れる米づくりの推進	地域の品質向上の課題を明確にし、実情に応じた品質向上対策を徹底することにより1等米比率の向上を図る。
③特色ある園芸産地の育成	消費者・実需者ニーズに基づいて、出荷形態や栽培方法の改善に主体的に取り組む産地の育成を図る。
④6次産業化の推進	農林漁業者等による新商品開発や販路開拓、総合化事業計画の策定支援や情報提供等を行い、6次産業化の推進を図る。
⑤地産地消の推進	県内の商工業者と連携した地産地消の推進、地域農業の理解と地元食材の利用促進を図る。
⑥能登牛の生産基盤を整備	能登牛の生産基盤を拡充するために、肥育農家の規模拡大及び酪農家における乳肉複合経営の推進を図る。